

☆遊びましょ!!



♪おかめ・天狗にひょっとこ。

♪遊び方説明書入りだよ!!



♪お、置けない。見るも恐ろしいこの構造。

ここ高知県は四国 4 県の中でも酒の消費量がぶっちぎりで一位の言わば『酒国』。

土佐では宴会のことを『おきゃく』と言い、お酒の席ではいろいろな遊びがあり、要するに沢山飲ませる仕掛けが多数。

上左のベくはいセットは左上の独楽を廻して出た絵柄の杯にお酒を注いで飲むのだが、杯の形から飲み干すまで置けない仕組み。

右上、はし拳セットはお箸と説明書だが、やっぱり朱塗りの箸じゃないといけません。

左の穴あきと空吸(そらきゅう)、これも注いだが最後飲まないと置けない代物。

♪ショップ風良里に各種ご用意!!

猫のしっぽ 秋。今週は暑さも一段落して何日かしのぎやすい日もあり、秋の訪れももうすぐ？けれど 6 日(水)は暑さがぶり返し、ロードバイクの青猫 V 号で出かけたなら結構大変でありました。

これからの秋本番、道の駅南国風良里にも秋の味覚が揃い、食べ物もおいしい季節で、あわせてお酒も飲み頃に。本文記事のとおり、高知の人はお酒が大好き。何やかやと理由を付けて宴会をするのだが、その際活躍するのが『座興杯(ざきょうはい)』の数々。大体が注いたら飲み干すまで下に置けないという、飲酒を強要する恐ろしいツール。はし拳は、負けた方が一勝負毎に罰で酒を飲むのだが、実は飲みたくてわざと負ける輩もいるというゲーム。その他にも伏せた多数の杯の一つに菊一輪を入れておき、順に開けて当たった人がそれまでに空けた杯数を飲むという、その名も『菊の花』など何をか言わんやですね。要するに、高知人って飲みたいだけの人なんだ。風猫子